

2020年08月21日

岐阜大学医学部附属病院 脳神経内科の外来診療あるいは入院診療を受けた患者さんへ

「認知症病態におけるプログラニューリンの役割の解明」への協力のお願い

岐阜大学医学部附属病院 脳神経内科では、過去に下記のような診療を受けた患者さんの試料・情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2013年2月1日～2020年1月31日に岐阜大学医学部附属病院 脳神経内科において、認知症および運動ニューロン疾患と診断された方

研究期間：倫理審査委員会承認日～2025年3月31日

研究目的・方法：ヒトの体の中には、神経成長因子であるプログラニューリンが産生されており、一部の認知症患者さんで低下していることが最近報告されております。上記の対象患者さんの血液と髄液のプログラニューリン濃度を測定して、電子カルテの臨床情報〔年齢、性別、診断名、既往歴・家族歴、神経学的所見、治療内容、検査・画像データ（血液一般、生化学、髄液細胞数、蛋白量、頭部MRI、脳血流シンチ）〕との関連性を検討し、認知症の新たな診断・治療法の開発に結びつけることが今回の研究の目的です。また現在前頭側頭型認知症のバイオマーカーとして期待されているビス（モノアシルグリセロ）リン酸（BMP）を研究参加施設である小野薬品工業で測定して、プログラニューリンとの関連性も検討いたします

研究に用いる試料・情報の種類：岐阜大学医学部附属病院 脳神経内科の外来・入院患者で、下記研究課題で検体の二次利用の同意が得られており、血清・髄液が保存されているものを使用します。そのため、新たに検体を採取することはありません。

認知症の早期診断・病態解明およびバイオマーカーの開発を目的とした血清・髄液の解析（28-78）

神経疾患におけるプログラニューリンの臨床的有用性に関する研究（28-146）

外部への試料・情報の提供：試料・情報から個人を識別できる情報を削除し独自の符号を付す作業を行い、患者さんの個人情報が出漏れないように送付いたします

研究組織：

【研究代表者】

所属：岐阜大学大学院医学系研究科 脳神経内科学分野 職名：教授 氏名：下畑享良

【参加施設研究責任者】

所属：小野薬品工業株式会社 水無瀬研究所 探索研究提携部 第2課 筒井 陽仁

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究に関する質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、

試料・情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会の承認を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び研究参加施設に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

連絡先

岐阜大学医学部附属病院 脳神経内科
電話番号 058-230-6254
氏名：下畑享良

研究責任者

岐阜大学医学部附属病院 脳神経内科
氏名：下畑享良